



6月9日(土)・10日(日)にサンドーム福井にて開催! 第2回食育推進全国大会

食育月間である6月に、福井県や全国各地で取り組んでいる「食育」を体験できる「食育推進全国大会」。フォーラムや講演、魚を捌く講座や学校給食の試食など、さまざまな催しを通して、食育を学ぶことができるイベントだ。



講演会

服部栄養専門学校校長の「服部幸應」さんによる講演「家族の食卓をはじめましょう」や、食生活・健康ジャーナリスト「砂田登志子」さんによる「楽しく食育～幸福は口福から」など、貴重な話を聞くことができる。



全国高校生食育王選手権大会

全国各地の高校生が参加、食に関するクイズや調理の実演を通して楽しく食育を学ぶ大会。ゲストはあの「彦麻呂」さん。

福井県農林水産部販売開拓課
☎0776・20・0421
<http://info.pref.fukui.jp/hanbai/shokuiku/kaisai.html>

頭だけで考えていてはダメ。自らが実践する、食育の大切さ。
西川知事は自らもこの食育を実践している。
例えば魚。知事の家では魚は、一匹丸ごと買ってくる。それを三枚に捌いて料理しているそうだ。またカレイを干して、干物にしたりもするそう。
「ガラスに取られることもあるんですけど(笑)。でも、昔はこの家庭でもそうしていた。魚といえば、切り身しか思い浮かばない子どもたちに頭も骨もあることを分かってほしい」
また、趣味の家庭菜園では20種類以上の野菜を栽培している。夕方収穫した旬の野菜が、その日の食卓に並ぶ。たまに、自ら料理をすることもあつて。

「新鮮な野菜を楽しめるのはもちろん、畑で体を動かしている時間は何よりリラックスできるんです。時々手を休めて周りの様子を見てみる。近くにある足羽山の桜が鮮やかな新緑になっているのを見て、季節の移り変わりを感じる。空を見上げ、いつの間にか出ていた星を見て、もうこんな時間か、と気づかされることもあるんです」
時間の流れを時計からではなく、自然からゆつたりと感じる。知事という分刻みの激務をこなしながら、プライベートではそんな贅沢な時間を過ごしている。
「子どもたちにはスポーツを楽しむように、もっと農業に触れて欲しいと思っています。そこから環境や自然のことなど学べるのがたくさんあるんです。僕が菜園を始めたのは20年以上前。子どもに読み聞かせていた絵本がきっかけなんです。たしか「ぜんべえじいさんのいちご」という本で、子どもに「いちごってどうやって作るの?」と聞かれて、作り出したのが最初。それからだんだん種類も増えていったある日、屋根まで届く、キュウリのツタを子どもに見せることができた。スーパーでキレイに並ぶキュウリは、本当はこんなに力強い野菜なんだ、と体感させることができたんです。まさに「食育」ですね(笑)」
健康長寿を掲げ、その柱として食育があるという西川知事。自らも食育を実践し、充実したライフスタイルとなっている。
「特に若い世代の人にはもっと、食育の大切さに目を向けてもらいたい」と



食育の大切さを熱く語ってくれた。自らが実践しているからこそ、その言葉、一つひとつに重みがある

思います。大都市ではなかなか難しいけれど、福井にはそのきっかけがたくさんある。普段は車を使っているところを、ちよつと歩いてみるだけでも違う。道すがら畑で何が作られているかに興味を持つだけでも立派な「食育」なんですから」

食育の福井県として、今後、どのような展開を考えているのだろうか? 「まずは6月の食育全国大会を成功させること。そして、2年後には全国植樹祭の開催も決定しています。福井の豊かな自然を生かした行政を進めていきたいと思います」



家庭菜園で汗を流す西川知事。普段の激務を一瞬忘れさせてくれるひと時だという。奥さんと二人で作業をすることが多いそうだ。「夫婦の貴重なコミュニケーションの場でもあるんですよ」

福井県のリーダーが実践する、食育のさきがけ 西川一誠知事 究極の地産地消!



全国が注目! 福井は、食育の先進県。そのリーダーに聞く。

福井県は全国にさきがけて食育にとりくんでいる。例えば、栄養教諭。食に関する授業や、給食の大切さを教える教師のことだが、福井県は平成17年から、いち早くこの栄養教諭を配置した。また、高校生を対象に行なう「食育王選手権」というイベントでは、クイズ形式で食育に関する知識を競う。
さて、全国で食育への関心が高まってきたことを受け、昨年「食育推進全国大会」が大阪で初めて行なわれ、盛況を博した。第二回目となる今年も、大阪に続く大都市での開催かと思われたが、大方の予想を覆し福井での開催が決定した。
「全国大会が福井で開催されるのは、実は自然なこと。それこそはずから、食育のルーツは福井にあるんです。明治時代、福井県出身で陸軍薬剤師の石塚左玄が、その土地に行ったらその土地の食生活に学ぶべきであるという「身上不二」の原理を発表するとともに、食の栄養、安全、選び方、組み合わせ方の知識とそれに基づく食生活が心身ともに健全な人間をつくるという教育を説きました。「食育」という言葉を初めて使った人なんです」。



福井県知事 西川一誠 にかわいっせい

平成15年、福井県知事に就任。「福井元気宣言!」をマニフェストに据えて県政をリードする。家族は妻、二男、一女。趣味の家庭菜園では約20種類以上の野菜を栽培する。詳しくは自身のブログでレポートされているのでチェックしてみよう。
www.nishikawa-issei.com